

活用方針・導入/活用までのステップ



VLP取組概要

■ VLP活用のねらい

- 適 不登校児童生徒（不登校傾向含む）の新たな居場所または学びの場の確保
- 日 日本語初期指導を修了した児童生徒同士のコミュニケーションの場の確保

■ 対象生徒・児童

- 適 不登校児童生徒（不登校傾向含む）
- 日 日本語初期指導を修了した児童生徒

■ 運営時間

- 適 月～金曜日 9：00～15：30
- 日 隔週月曜日 16：00～16：30

■ 活用方法

- 適 レクリエーション活動、S S Wとの面談
- 日 日本語によるコミュニケーション活動



VLPの導入/活用までのステップ

① 令和6年4～7月

- ・限定的な利用開始
- ・適応指導教室在籍児童生徒のうち、利用希望者にアカウント配布
- ・週に1回1時間程度のレクリエーション活動

② 令和6年9月～現在

- ・常時開設開始
- ・不登校児童生徒（不登校傾向含む）のうち、学校が認める利用希望者にアカウント配布
- ・日本語初期指導を修了した児童生徒にアカウント配布
- ・週に2回1時間程度のレクリエーション活動

活動・取り組み内容

活動・取り組み内容

【導入前】

- ・大人だけでログインし、各種機能の操作方法の確認
- ・アカウントの管理方法、配布手順を検討
- ・校長会等で事前に周知

【導入初期】

児童/生徒が配布されたアカウントで実際にログインし、大人と対面で下記を実施

- ・ニックネーム/アバター設定、実際にアバターを操作
- ・カメラ・マイクの許可設定実施
- ・使用するブラウザにID/PW、URLを保存
(操作方法がわからず、辞めてしまうことを避けるため)
- ・週に1回1時間程度のレクリエーション活動 適
- ・月3-4回 30分程度の日本語指導 日

【運用期】

- ・都のイベント 適
- ・常時開設 適
- ・週に2回1時間程度のレクリエーション活動 適
- ・月3-4回 30分程度の日本語指導 日



成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

適

- ✓ 対面コミュニケーションや言語表現が苦手な児童生徒が楽しく参加し、柚子の木教室通級回数が増加した。
- ✓ チャットを使用することで、ASD傾向児童生徒の自己表現機会や手段が顕著に増加した。引きこもり傾向から脱却した生徒もいた。
- ✓ 参加者相互の連帯感が向上した。教室内の会話が増えた。
- ✓ 毎週自宅から自主的に参加し、帰属意識が向上した。

日

- ✓ 入室したら日本語教室へ集合する、動画を見る、会話練習を各指導員と行うなど活動の流れが定着してきており、子ども達の活動時間が増えた。
- ✓ 日本語によるチャット、音声でのコミュニケーションを図ることができた。

次年度以降の方針

- ✓ 対象児童生徒の利用率の増加
⇒区主催のイベントの充実
⇒支援員やSSW等との連携を強化
- ✓ 活用方法の多様化
⇒個別面談の実施
⇒運営に携わる区職員を増員

利用者の声



児童・生徒

適

- クイズ大会をしているうちに、「私も問題を作って出したい！」という気持ちになりました。
- 操作が上手くなると、どんどん楽しくなりました。
- レクリエーションに家からも参加出来るので、教室に行かれない時も交流ができて嬉しいです。

日

- 友達や先生と日本語で話すことができて楽しいです。
- まだ終わりがなくて、退出したくありません。



教職員や保護者等

適

- 会話が苦手な児童生徒もチャット機能で思いを伝えることが出来るので、貴重なツールです。
- 参加者がとても楽しそう。保護者も参加してみたいです。
- 新たに参加する児童生徒が戸惑わないように、慣れるまで職員がマンツーマンでナビゲーションしてくれると良いと思う。

今後のバーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）活用について

日頃より教育センター事業につきましては、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。下記のとおり、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）事業を拡大いたしますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

記

1 VLPのアカウント配布

(1) 対象者

- 【継続】令和6年5月から
・適応指導教室在籍者で配布を希望する者
- 【新規】令和6年10月から
・不登校児童生徒で配布を希望する者
※欠席日数にかかわらず、何らかの心理的、情緒的、身体的若しくは社会的要因又は背景によって、出席しない又はすることができない状況にある者

(2) 配布方法

- ①教育センター職員から配布
②学校の教職員から配布（配布の希望がある場合は、SSWまたは担当にご連絡ください。）

(3) トラブルへの対応

- ①都のオンライン支援員または教育センター職員が在駐してトラブル対応を行います。
②テキストチャットの記録を教育センター職員が確認することができます。

2 オンライン自主学習教材

(1) 教材

- ①【新規】「デキタス」
5分程度の授業動画を視聴した後に確認テストを行います。主要5教科の単元ごとに学ぶことができます。
- ②【新規】「みんなでプログラミング」
基本の考え方から応用問題まで、キャラクターによるアシスタントを受けながらプログラミングについて学ぶことができます。

(2) アカウントの配布対象

VLPのアカウントを配布したすべての児童生徒に教材用アカウントを配布いたします。
※児童生徒の学習状況を確認するための管理アカウントは、別途C4thメールにて送付いたします。

3 VLPの取組

	対象者	開設時間	活動（例）
【新規】 常時開設	・適応指導教室在籍者 ・不登校児童生徒	月～金曜日 (適応指導教室開室日) 9:00～15:30	・自主学習 ・都のオンライン支援員等と会話 ・児童生徒同士の交流 ・SSWや心理士等との個人面談
【拡大】 レクリエーション	・適応指導教室在籍者 ・不登校児童生徒	水・金曜日 13:30～14:00 ※水曜日のみ実施でしたが、 令和6年10月より金曜日 も実施いたします。	・お絵描きしりとり ・イントロクイズ ・イスとりゲーム ・鬼ごっこ ・かくれんぼ
【継続】 日本語指導	・教育センター日本語 指導教室修了者 ※令和6年8月以降	隔週月曜日 16:00～16:30 ※VLPにて開設日を連絡 いたします。	・教育センター日本語指導教室 指導員との発音及び会話練習

※祝日及び長期休業中は開設いたしません。

(児童・生徒保管用)

「バーチャル柚子の木」アカウント

学校名 (学校)

名 前 ()

開設時間：毎週水・金曜日
13:30～14:00
※春・夏・冬休みはお休みです。

Q&A



「バーチャル柚子の木」入室アカウント

ログインURL	 https://ticket.xcloud.jp/login/
ログインID	
パスワード	

オンライン学習教材「デキタス」アカウント

ログインURL	 https://www.dekitas.net/metrovlp
ログインID	
パスワード	

オンラインプログラミング教材「みんなでプログラミング」アカウント

ログインURL	 https://edu.minprogramming.jp/login
ログインID	
パスワード	

「デキタス」「みんなでプログラミング」の始め方



上の表の二次元コードを読み取るか、学習スペースのつくえの上のアイコンをクリックして始めてね！

「バーチャル柚子の木」を安全に使うための約束

- ① アカウントは、他の人に教えたり、使わせたりしないようにしましょう。
- ② クロームブックを利用してログインしましょう。
- ③ 自分や家族についての大事な情報は、バーチャル柚子の木で知り合った友だちに教えないようにしましょう。
- ④ バーチャル柚子の木でのやりとりを録音・録画しないようにしましょう。
- ⑤ 困ったことがあったら柚子の木教室の職員に相談しましょう。
- ⑥ アバターを見かけたら、楽しくお話ししましょう。(みんなが安心して過ごせるように、相手を傷つけるようなことは言わないようにしましょう。)